



第76回 九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会 開 催 要 項



大会キャッチフレーズ

「イチャリバ チョーデー

チュラシマ ウチナー
美ら島 沖縄で 子どもの未来社会を語ろう」

※イチャリバ チョーデー（一度出会ったら 皆兄弟）の沖縄の方言。
美しい沖縄の地できょうだいのように心を通わせ 予測困難な時代に立ち向かう子どもの育成を語り合おう。

期 日：2024(令和6)年8月6日(火)・7日(水)・8日(木)

会 場：全体会：那覇文化芸術劇場大劇場（なは一と）

分科会：那覇文化芸術劇場 沖縄県教職員共済会館

沖縄県市町村自治会館 マリエールオークパイン

主 催：九州地区小学校長協議会 沖縄県小学校長会

令和6年3月吉日

九州各県小学校長会 様

第76回九州地区小学校長協議会研究大会
沖縄大会実行委員会 委員長 宮國 義人

令和6年度 第76回九州地区小学校長協議会研究大会
沖縄大会の御案内

陽春の候。会員の皆様におかれましては、ますます御健勝にて学校経営に御精励のことと拝察致します。さて、沖縄大会では、全国連合小学校長会研究主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」のもと、副主題を「多様な価値をもつ他者と主体的・協働的に学び合い、豊かな未来社会を創造する子どもを育む学校経営」と設定しました。

九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会では、九州地区各小学校長の英知を結集して主題に迫る協議がなされ、小学校教育の更なる充実・発展に寄与することを目指しております。

つきましては、令和6年度 第76回九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会に、ぜひ御参加いただきますよう、ここに御案内申しあげます。

目 次	
1 大会主題 2 趣旨 3 主催 4 共催 5 後援 6 期日 7 会場 8 日程 …	1
9 大会日程及び会順 ………………	2
10 分科会研究主題・協議題一覧 ………………	3
11 分科会の研究主題・協議題（趣旨） ………………	4
12 参加者 ………………	8
13 参加費 ………………	9
14 記念講演 15 アトラクション ………………	9
16 災害時発生時の対応について 17 大会参加費・昼食について ………………	10
18 参加申込・参加費の振込について ………………	10
19 E-mailの利用について 20 宿泊の申込について ………………	11
21 沖縄大会集録について 22 その他 ………………	11
23 全体会・分科会会場 レイアウト ………………	12
24 全体会・分科会会場 アクセス マップ ………………	14

参加者へのお願い

- ◇服装は、クールビズ（ノーネクタイ・上着なし）・かりゆしウエアとします。登壇される方は、上着着用（ノーネクタイ）全連小バッジ着用のこと。
- ◇各自、名刺を10枚程度御持参下さい。分科会のグループ協議の前に名刺交換を行います。

第76回九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会 開催要項

- 1 大会主題 「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
 ～多様な価値をもつ他者と主体的・協働的に学び合い、豊かな未来社会を創造する子どもを育む学校経営～

2 趣 旨

九州地区小学校長協議会では、全国連合小学校長会と歩調を合わせ、研究主題を設定し、実践的な研究を積み重ねてきた。

学習指導要領の前文では、これからの学校には、「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」とあり、そのためには、学校と社会が理念を共有し、連携・協働する「社会に開かれた教育課程」の実現が重要であることが示された。

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが成人して社会で活躍する頃には我が国は、生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、絶え間ない技術革新等による社会構造等の環境が大きくまた急速に変化し、予測困難な時代となっている。

このような急激な社会の変化の中では、一人一人が自らの能力や可能性を信じ、学習したことを生活や社会の中で課題解決に生かすことのできる力が求められる。

また、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越えていく生きる力の育成も課題である。

こうした状況を踏まえ、これからの教育は、学校と社会とが認識を共有化し、変化が激しく未来の予測が困難な時代に向かって、自らの力で未来を切り拓き、ともに生きる豊かな社会を創り出すことのできる人間を育成する教育を実現しなくてはならない。このような時代の要請や社会の変化に対応するため、価値観の違いや変化を前向きに受け止め、自らの力で未来を切り拓く日本人の育成を主意に設定された令和2年度からの全国連合小学校長会の研究主題のもと、本大会の副主題を「多様な価値をもつ他者と主体的・協働的に学び合い、豊かな社会を創造する子どもを育む学校経営」とし、新たな視点で研究を深めていくこととした。

「多様な価値をもつ他者と主体的・協働的に学ぶ」とは、自己肯定感を高め、未来に向かう自信と意欲に満ち、様々な価値を尊重する態度を表し、急速に変化する社会に対応し、予測困難な社会に粘り強く立ち向かおうとする姿と捉える。また、「豊かな未来社会」とは、「夢や希望が輝く社会」「自己肯定感が高まる社会」と捉える。

以上を踏まえ、学校教育の果たすべき役割・使命の大きさを真摯に受け止め、分科会での研究協議を深める中で、優れた実践を共有し、未来社会を創造する子どもを育成する経営者として、新たな時代に求められる理念と指導性を究明していきたい。

- 3 主催 九州地区小学校長協議会 沖縄県小学校長会
- 4 共催 沖縄県教育委員会
- 5 後援 全国連合小学校長会 那覇市教育委員会 沖縄県市町村教育委員会連合会
 沖縄県PTA連合会 沖縄県中学校長会
- 6 期日 令和6年8月6日(火)・7日(水)・8日(木)
- 7 会場 全体会：那覇文化芸術劇場大劇場「なは一と」
 分科会場：なは一と 自治会館ホール マリエールオークパイン 八汐荘

8 日程

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	
期日									
8月6日(火)						受付	幹事会	受付	分科会運営連絡会
8月7日(水)	諸準備	受付	開会式	全体会	会場移動・昼食	分科会			
8月8日(木)	受付	閉会式	記念講演		閉会式				

9 大会日程及び会順

8月6日(火)			8月7日(水)			8月8日(木)		
時間	行事	内 容	時間	行事	内 容	時間	行事	内 容
9:00			9:00	諸準備	諸準備	9:00	受付	那覇文化芸術劇場なは一と
9:30			9:30	受付	那覇文化芸術劇場なは一と	9:30	シヨトラフ	舞踊集団「花やかから」
10:00			10:00	開会式	1 開式のことば 2 国歌斉唱 3 挨拶(大会長・全連小会長) 4 感謝状贈呈 5 祝辞(県知事・那覇市長) 6 来賓紹介 祝電披露 7 閉式のことば	10:00	全体会	大会宣言文報告
10:30			10:30			10:30	記念講演	1 講師紹介 2 講師 平田 大一 氏 3 演題 「人づくりの種をまく～感動体験は生きるチカラ～」 4 花束贈呈
11:00			11:00	全体会	1 日程説明 2 主題等の説明 3 全連小報告	11:00		
11:30			11:30		※移動・昼食の説明	11:30		準備(10)
12:00			12:00	移動・昼食	移動・昼食	12:00	閉会式	1 開式のことば 2 大会長挨拶 3 次期開催県挨拶(福岡県) 4 閉式のことば
12:30			12:30			12:30		
13:00			13:00		◇第1分科会(なは一と 小劇場) 「経営ビジョン」	13:00		
13:30			13:30		◇第2分科会(なは一と 大スタジオ) 「組織・運営」「評価・改善」	13:30		
14:00	受付	沖縄県教職員共済会館 八汐荘4F (会議室)	14:00		◇第3分科会(自治会館 ホール) 「知性・創造性」	14:00		
14:30	幹事会	1 開会のことば 2 会長挨拶 3 役員紹介 4 協議 5 連絡 6 閉会のことば	14:30	分科会	◇第4分科会(自治会館 第4～6会議室) 「豊かな人間性」「健やかな体」	14:30		
15:00			15:00		◇第5分科会(自治会館 201～203会議室) 「研究・研修」	15:00		
15:30	受付	沖縄県教職員共済会館 八汐荘1F (屋良ホール)	15:30		◇第6分科会(マリエールオーバイン1A) 「リーダー育成」	15:30		
16:00	分科会運営連絡会	◇沖縄県教職員共済会館 八汐荘1F (屋良ホール) 1 開会のことば 2 大会日程説明 3 全体会運営説明 4 分科会運営説明 5 記録説明 6 分科会別打合せ(分科会ごとに開会)	16:00		◇第7分科会(マリエールオーバイン1B) 「学校安全」「危機対応」	16:00		
16:30			16:30		◇第8分科会(八汐荘4F会議室) 「社会形成能力」	16:30		
					◇第9分科会(八汐荘1F屋良ホール) 「自立と共生」「連携と協働」			

10 分科会研究主題・協議題一覧

分科会領域	研究主題	協議題	提案県
第1分科会 「経営ビジョン」	先見性のあるビジョンに基づく創意ある学校経営の推進	①未来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定	鹿児島
		②学校経営ビジョンに基づく創意ある学校経営の推進	熊本
第2分科会 「組織・運営」 「評価・改善」	学校経営ビジョンの具現化を図る組織づくりと運営並びに学校教育の充実を図る評価・改善の推進	①学校経営ビジョンの具現化に向けた活力ある組織づくりと学校運営の推進	長崎
		②「自ら未来を拓く力」を育む確かなものとする学校経営の評価・改善	福岡
第3分科会 「知性・創造性」	知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進	①「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組	宮崎
		②しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育活動を実現するカリキュラム・マネジメントの推進	沖縄
第4分科会 「豊かな人間性」 「健やかな体」	豊かな人間性と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進	①新たな社会を見据えた人権教育と豊かな心を育てる道徳教育の推進	大分
		②たくましく生きるための体力向上や健康づくりを目指す教育活動の推進	鹿児島
第5分科会 「研究・研修」	学校の教育力を向上させる研究・研修の推進	①教職員の資質・能力の向上を目指した研究・研修体制の充実	大分
		②キャリアステージに応じた資質・能力や学校経営への参画意識の向上を図る研修の推進	佐賀
第6分科会 「リーダー育成」	これからの学校を担うリーダーの育成	①学校教育への確かな展望をもち、行動できるミドルリーダーの育成	宮崎
		②社会の変化をとらえる能力と豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成	鹿児島
第7分科会 「学校安全」 「危機対応」	命を守る安全教育・防災教育の推進及び様々な危機への対応と未然防止の体制づくり	①危機回避能力を育む安全教育・防災教育の充実と地域や関係機関との連携を図った安全教育・防災教育の推進	大分
		②いじめや不登校等に適切に対応できる体制の整備と高い危機管理能力をもつ組織・体制づくり	熊本
第8分科会 「社会形成能力」	社会形成能力を育む教育の推進	①社会の発展に貢献しようとする資質・能力・態度を育む教育活動の推進	長崎
		②自立・協働・創造の心を育むキャリア教育の推進	熊本
第9分科会 「自立と共生」 「社会との連携・協働」	特別支援教育の推進及び学校・家庭・地域との連携・協働と学校段階等間の接続・連携の推進	①子どもの自立を図る特別支援教育の推進	佐賀
		②家庭・地域と連携し充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進	宮崎

第1分科会 「経営ビジョン」

研究主題 先見性のあるビジョンに基づく創意ある学校経営の推進

〔趣旨〕

今日、知識基盤社会やグローバル化の進展は、政治や経済、文化などのあらゆる領域に影響を及ぼしており、社会構造そのものが大きく変化し、学校教育に寄せる期待も多様化している。このような中、新学習指導要領が改訂され、これからの時代に求められる教育を実現するためには、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、学校と社会との連携及び協働のもと、教育活動が展開されていくことがより一層求められている。そのためには、「社会に開かれた教育課程の編成」が重要となり、学校経営においては、社会の変化を見極めて、「新たな知を拓く」教育を着実に押し進めていく必要がある。

また、校長は、保護者や地域住民の声を確実に捉えながら、これからの社会を生き抜く子どもの望ましい姿を思い描き、その育成に向け、先見性のある経営ビジョンを策定することが重要となる。さらに、校長の強いリーダーシップの下、教員の職務に対する誇りと使命感を大切にしながら、未来へ向かって夢と希望をもち、たくましく生きる力をもった子どもを育てる教育活動を組織的・計画的に進めていかなければならない。

本分科会では、これからの未来をたくましく生きる力をもった子どもを育てるための明確な経営ビジョンを掲げ、マネジメント能力を発揮し、学校や地域の特色を生かして、子ども一人一人の夢と希望の実現に向けた創意ある学校経営を推進するため、その具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 未来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定 【鹿児島県】

《協議題2》 学校経営ビジョンに基づく創意ある学校経営の推進 【熊本県】

第2分科会 「組織・運営」「評価・改善」

研究主題 学校経営ビジョンの具現化を図る組織づくりと運営及び学校教育の充実を図る評価・改善の推進

〔趣旨〕

今日、知識基盤社会の進展やグローバル化の進行等により、社会状況は急激に変化している。このような中、校長は、「新たな知を拓く」教育を実現するために掲げた学校経営ビジョンの実現に向け、活力ある組織・運営体制を築いていく必要がある。そのためには、学校組織を刷新し活気ある組織づくりを行うとともに、教職員一人一人が協働意識と参画意識をもって組織を機能させるようにしていかなければならない。

また、校長は、学校経営ビジョンに基づく確かな学校経営と教育実践を進めるとともに、絶えずその評価・改善に取り組み、学校教育の更なる充実に努めていく必要がある。そのためには、評価をマネジメント・サイクルの重要な観点として位置付け、改善に向けたより実効性のあるものとしていかなければならない。さらには、教職員評価システムも踏まえつつ、自校の教職員に対する適切な指導や助言が、個々の意識改革や資質・能力の向上、学校組織全体の成長・発展につながるようにしていかなければならない。

本分科会では、校長の示す学校経営ビジョンの具現化を図るための組織づくりと運営並びに学校経営の充実を図る評価・改善の具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 学校経営ビジョンの具現化に向けた活力ある組織づくりと学校運営の推進 【長崎県】

《協議題2》 自ら未来を拓く力を育む教育を確かなものとする学校経営の評価・改善 【福岡県】

第3分科会 「知性・創造性」

研究主題 知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進

〔趣旨〕

今日、インターネットで情報を容易に得ることができたり、AI（人工知能）の実用化が進んだりしており、暮らしはもとより産業や経済などあらゆる分野の変革の動きが加速し、知識基盤社会やグローバル化も確実に進展している。このような中、子どもには、自他としっかり向き合いながら自分を見失うことなく、社会の変化に柔軟に対応し、自信をもって自らの夢と希望の実現に向け、たくましく生き抜く力を身に付けていくことが求められている。

また、このような中、新学習指導要領も単なる知識や技能の獲得に留まらず、時代を先取りし新たな課題に果敢に挑戦しながら、主体的に解決することを求めている。そのため、学校教育では、子どもに多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化に対応し乗り越えることができる柔軟な思考力や判断力、表現力を身に付けさせることが必要になる。さらには新しい見方や考え方で新たな価値を創造できる資質・能力を獲得させていくことが不可欠であり、そのためのカリキュラム・マネジメントの確立が強く求められている。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、子どもが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように、しなやかな知性と豊かな創造性の育成を目指す「社会に開かれた教育課程」の実現とカリキュラム・マネジメントについての具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組 【宮崎県】

《協議題2》 しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育活動を実現するカリキュラム・マネジメントの推進 【沖縄県】

第4分科会 「豊かな人間性」「健やかな体」

研究主題 豊かな人間性と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進

〔趣旨〕

今日、グローバル化の進展に伴い、文化や習慣、価値観の多様化が進む中、未来を担う子どもが自らの夢や目標の実現を図るために、学力や体力の向上はもちろん、自律的態度の確立を促すこと、互いを思いやり尊重する態度や感動する心など豊かな人間性を育むことが大切である。そのため、学校においては、全教育活動を通して体験活動を推進することや、人権教育や道徳教育を基盤とした心の教育の充実を図ることが強く求められている。

また、近年の急速な社会環境や生活環境の変化は、物質的な豊かさをもたらしている反面、精神的なストレスの増大や生活習慣病の増加など、心身両面で問題を生み出している。学校においても、体力・運動能力の低下やアレルギー性疾患、いじめや不登校等、子どもの心と体の健康に関わる様々な課題が生じている。校長としては、このようなことを踏まえ、課題解決を進める指導態勢の構築と社会の変化に対応した取組の充実を図る必要がある。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、豊かな人間性を育むための心の教育の実践、並びに未来をたくましく生き抜くための体づくりと健康づくりを推進するためのカリキュラム・マネジメントについて、具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 新たな社会を見据えた人権教育と豊かな心を育てる道徳教育の推進 【大分県】

《協議題2》 たくましく生きるための体力向上や健康づくりを目指す教育活動の推進 【鹿児島県】

第5分科会 「研究・研修」

研究主題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進

〔趣旨〕

知識基盤社会やグローバル化が進展し、社会構造に大きな変化が見られる中、「持続可能な社会」を実現させるために必要な資質・能力の育成や、多様な人間関係を構築していく力や習慣の育成等が重要となっている。このような社会の急激な変化や時代のニーズに応え、学校教育の使命・責務を果たすためには、学校の教育力の向上・充実が急務である。

これらのことを踏まえ、校長は、確かな先見性と洞察力を身に付け、自校の課題を明らかにしながら、教職員が教職に対する使命感や責任感、探究心をもち、職務やキャリアステージに応じて求められる資質・能力を生涯にわたって高めていけるよう展望をもたせるとともに、学校経営への参画意識が高まるように研究・研修体制を充実することが重要である。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、教職員にキャリアステージを意識した展望や学校経営への参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制の確立とその推進について、その具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 教職員の資質・能力の向上を目指した研究・研修体制の充実 【大分県】

《協議題2》 キャリアステージに応じた資質・能力や学校経営への参画意識の向上を図る研修の推進
【佐賀県】

第6分科会 「リーダー育成」

研究主題 これからの学校を担うリーダーの育成

〔趣旨〕

今日、学校には、「新たな知を拓く」教育の実践や様々な教育課題への対応が求められ、その解決に向け、学校の教育力を高めていくことが重要になっている。学校教育目標等の具現化に向けて、教職員一人一人の力量を高め、学校組織としての教育力を向上させていくことが学校経営の重要課題である。そのためには、学校を組織的に運営していくための大きな役割を果たすミドルリーダーの存在がますます重要になっており、その育成が急務である。

また、校長は、教職員一人一人の特性を把握し、必要とされる資質・能力を具備した人材を発掘して、意図的・計画的に育成していくことが重要である。特に、組織的な学校運営を推進していくためには、学校全体を統括・指導する有能な管理職人材の存在が不可欠となり、このような人材を計画的に育成していく必要がある。その際、校務分掌を通して幅広い経験をさせるとともに、経営感覚を育むことなどが重要である。

本分科会では、学校教育への確かな展望と実践力を身に付けたミドルリーダーや社会の変化をとらえる能力と豊かな人間性を身に付けた管理職人材を育成するため、その具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 学校教育への確かな展望をもち、行動できるミドルリーダーの育成 【宮崎県】

《協議題2》 社会の変化をとらえる能力と豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成 【鹿児島県】

第7分科会 「学校安全」「危機対応」

研究主題 命を守る安全教育・防災教育の推進及び様々な危機への対応と未然防止の体制づくり

〔趣旨〕

未曾有の大被害をもたらした東日本大震災以降、国民の防災意識は確実に高まってきている。近年は、台風や局地的豪雨による土砂崩れや洪水、火山噴火等の自然災害が毎年各地で起きるとともに、猛暑による熱中症も頻発し、その対策も喫緊の課題となっている。また、通学路等における不審者の声かけ事案やわいせつ事案、交通事故など、子どもが被害者となる事案や事故の発生も後を絶たない。さらに、人間関係の希薄化、家庭の教育力の低下等、子どもを取り巻く環境は、子どもの意識に変化をもたらし、暴力行為やいじめ、不登校等といった問題行動の一因となっていると考えられる。

そのため、学校では、組織的・計画的な安全教育・防災教育を推進するとともに、多様化・深刻化する危機に備え、日頃から危機管理体制の整備、危機発生時の未然防止、危機発生時の対応、並びに再発防止等の適切な対応を行っていくことが重要である。

校長は、教職員の危機管理意識をより一層高めるとともに、自然や社会の変化を踏まえた危機管理体制の確立を図ることが求められている。そのためには、家庭・地域・関係機関との連携をより一層強化し、組織的に迅速かつ確に対応できるようにしていかなければならない。

本分科会では、子どもの安全安心を確保し、危機を回避する能力を育む教育の充実と、学校危機への計画的・組織的な対応を進め、危機に強い学校づくりの具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 危機回避能力を育む安全教育・防災教育の充実と、地域や関係機関との連携を図った安全教育・防災教育の推進 【大分県】

《協議題2》 いじめや不登校等に適切に対応できる体制の整備と、高い危機管理能力をもつ組織・体制づくり 【熊本県】

第8分科会 「社会形成能力」

研究主題 社会形成能力を育む教育の推進

〔趣旨〕

これからの社会は、「将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会」「AI（人工知能）等の導入により、子どもが今なりたい職業は将来存在しないかもしれない社会」など、産業・経済の構造的変化、雇用体制の多様化・流動化による社会環境の大きな変化が予測される。このような社会の到来は、子ども自らの将来のとらえ方にも大きな変化をもたらしている。とどまることなく変化する社会の中で、子どもが夢や目標をもって積極的に自分の将来を切り拓いて生きていくためには、社会の変化を恐れず粘り強く前進し、失敗しても諦めず変化に対応していく力と態度を育てることが不可欠である。

そこで、学校においては、これからの社会を創りあげていくために必要な知性と創造性ととともに、豊かな人間性を身に付けさせるために、他者を認めつつ、他者と協力することの大切さを教え、よりよい社会を協働して形成しようとする態度や能力を育む必要がある。

校長は、キャリア教育等の視点を取り入れた教育活動により、社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力等、子どもに生きる力の基礎を積極的に身に付けさせなければならない。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、特別活動を要しつつ教科等で身に付けた知識・技能等を基に、よりよい社会の形成に向け、主体性をもって社会に参画し、課題解決を図る能力や態度などを育むための具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 社会の発展に貢献しようとする資質・能力・態度を育む教育活動の推進 【長崎県】

《協議題2》 自立・協働・創造の心を育むキャリア教育の推進 【熊本県】

第9分科会 「自立と共生」「社会との連携・協働」

研究主題 特別支援教育の推進及び学校・家庭・地域との連携・協働と学校段階等間の接続・連携の推進

〔趣旨〕

今日、学校においては、子どもが障がいの有無にかかわらず共に生活する中で、分け隔て無く相互に人格や個性を尊重し合う教育が求められている。とりわけ、特別な支援を要する子どもに、その教育的ニーズに応え、将来の自立に向けての基礎を培っていかなければならない。そのためには、校長が特別支援教育に対する理解を深め、関係機関との連携に基づく支援体制の充実を図っていくことが大切である。

また、規範意識や他者とのコミュニケーション力が十分身に付いていないことが、いじめ等の問題行動の要因の一つになっており、主体的に地域に関わろうとする子どもの育成並びに生徒指導上の課題へ対応するためには、学校・家庭・地域等が一体となった地域基盤を再構築することが求められている。さらに、「小1プロブレム」「中1ギャップ」と呼ばれる異校種間の接続上の課題も依然として存在する。

校長は、保・幼・小・中学校間のスムーズな接続を図り、子どもたちの接続的な発達を意識した取組や教育環境づくりをより一層推進する必要がある。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、「子どもの自立を図るための特別支援教育、及び子ども一人一人の将来を見据え、家庭・地域等との連携や異校種間の円滑な接続を推進するための具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 子どもの自立を図る特別支援教育の推進 【佐賀県】

《協議題2》 家庭・地域等と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進 【宮崎県】

12 参加者

各県参加者予定数（会員数：令和5年8月現在）

県名	会員数	割当数	分科会参加者数									計	提案者	司会者
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
福岡	700	210	23	27	28	17	17	35	35	14	14	210	1	1
大分	241	72	8	9	9	8	8	8	8	7	7	72	3	3
宮崎	209	63	8	8	7	7	7	7	7	6	6	63	3	3
鹿児島	482	145	16	16	17	17	17	17	17	14	14	145	3	3
熊本	330	99	12	12	12	12	11	11	11	9	9	99	3	3
佐賀	147	40	4	4	4	4	5	5	5	4	5	40	2	2
長崎	307	92	10	10	10	10	10	10	10	11	11	92	2	2
沖縄	226	226	27	22	43	15	15	31	31	7	35	226	1	1
計	2593	947	108	108	130	90	90	124	124	72	101	947	18	18

【分科会場】

◇第1分科会場：なは一と小劇場

◇第2分科会場：なは一と大スタジオ

◇第3分科会場：自治会館ホール

◇第4分科会場：自治会館（第4～6会議室）

◇第5分科会場：自治会館（201～203会議室）

◇第6分科会場：マリエールオークパイン1A

◇第7分科会場：マリエールオークパイン1B

◇第8分科会場：八汐荘4F会議室

◇第9分科会場：八汐荘1F屋良ホール

13 参加費 6,500円（大会要録代等 5,000円+弁当代1,500円）

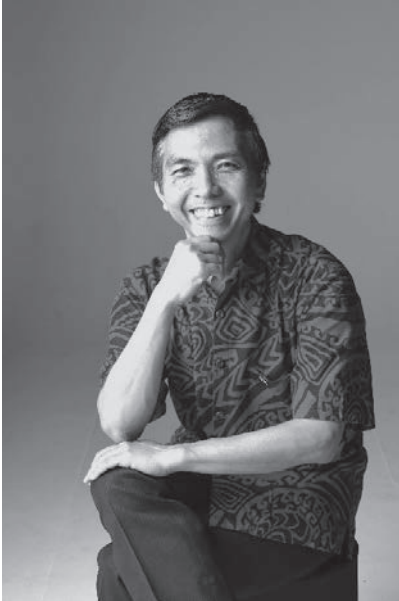
14 記念講演

演 題：「人づくりの種をまく～感動体験は生きるチカラ～」

講 師：平田大一（ひらた だいいち）南島詩人（演出家・脚本家・詩作家）

元沖縄県文化観光スポーツ部長

公益財団法人 沖縄県文化振興会 元理事長



〈プロフィール〉

◇「文化を基調とした地域づくり、人づくり」を信条に、2000年に「肝高の阿麻和利」の舞台演出を手掛け、以来、地域の伝承や偉人に光をあてた「現代版組踊シリーズ」を県内外で展開。

◇2001年「きむたかホール（旧勝連町）」初代館長、2005年初代「那覇市芸術監督」に就任。

＜主な著書＞「詩集 南島詩人（1994年／富多喜創）」「歩く詩人（2000年／富多喜創）」

「キムタカ！～舞台が元気を運んでくる（2008年／アスペクト社）」

「南風 海風に吹かれて（2008年／かんき出版）」

「シマとの対話（2009年）」「前略 南ぬシマジマ（2016年）」両著：ボーダーインク社

「DVD&冊子 南人夢想舞台（2021）」

＜主な作詞楽曲／関係する楽曲＞

ミルクムナリ（日出克1993年）、約束（今野登茂子1994年）、風の道（アルベルト城間1998年）、肝高の詩（2000年）、太陽の王子（2002年）、道標の詩（2003年）、ダイナミック琉球（イクマあきら2008年）、キムタカ（東儀秀樹2010年）、シンカヌチャー（宮沢和史2011年）、船よ疾走れ（イクマあきら2020年）、県立はなさき支援学校校歌（2021年作曲）他

14 アトラクション

舞踊集団 花やから

〈プロフィール〉

「花やから」の「やから」とは、沖縄の方言で「優れた者、卓越した者」を意味し、少女達の舞台での華やかさに「花」の艶やかさ美しさをイメージし名付けたものです。

平成9年1月に、沖縄の舞踊の明日を担う少女達によって子供舞踊集団として結成。

以後、公演やイベント出演、慰問公演、テレビ、映画、CM出演等、沖縄県内外、海外公演など活動中。舞台・芸能活動を通し、メンバーの人としての成長を育成しております。

現在、子供から大人までの15名でレギュラーメンバーを構成しており、今年で結成28年目を迎えております。

◇海外公演

ハワイ公演（2000年3月・8月・2007年9月）

ロスアンゼルス公演（2002年8月・2004年7月）

◇中国公演

（2002年3月 北京公演・天津国際少年児童文化芸術祭日本代表）

（2011年11月 上海公演）

（2013年12月 北京日本大使館公演・上海公演）

（2014年10月 台湾（台中市・台北市 公演）



16 災害時発生時の対応について

(1) 大会前日までに災害が発生した場合

- ①対策本部を沖縄県小学校長会事務局に設置し、全連小。九小協幹事会と協議のうえ、開催の可否を決定します。
- ②本大会は、参加者全員が沖縄県那覇市に参集しての対面開催とします。
- ③協議結果については、各県小学校長会事務局を通じて、参加予定者に通知致します。なお、申込み後、メールテスト等により配信確認後は、参加予定者、各県小学校長会事務局にメールにて通知致します。

(2) 大会当日に災害が発生した場合

- ①大会実行委員長を対策本部長として、那覇文化芸術劇場（なは一と）及び沖縄県教職員共済会館（八汐荘）沖縄県市町村自治会館、マリエールオークパインの緊急時対応担当者と連携しながら参加者の避難誘導、傷病者の対応を行います。
- ②参加者は、各会場の責任者、各施設の緊急時対応担当者の指示に従ってください。

17 大会参加費・昼食代について

(1) 大会参加費

- ①参加費（大会要録代等）5,000円 + 弁当代1,500円 = 計 6,500円
- ②大会参加費及び弁当の領収書は、大会当日に大会要録と一緒にお渡しします。欠席者については、後日、大会要録と合わせて各県小学校長会事務局に送付します。

(2) 昼食（弁当）

- ①全体会場、分科会会場周辺には、食事のできる所がほとんどありません。そのため、沖縄大会については、参加者全員、弁当による昼食とさせていただきます。ご了承ください。
- ②昼食は、各分科会場内にて摂っていただきます。

18 参加申込・参加費の振込について

(1) 参加者の申込及び『沖縄大会参加証』について

- ①個人申込書（P15） ※ミシン目から切り取ってご使用ください。
- ②個人申込書に記載後、各県小学校長会事務局に参加費・昼食代（計 6,500円）と一緒にご提出ください。
※各県小学校長会事務局への提出期限：令和6年5月10日（金）
- ③沖縄大会参加者名簿一覧、分科会グループ番号名簿作成後、参加者の皆様に、『沖縄大会参加証』を送付いたします。（7月上旬発送予定）
- ④大会当日は、『沖縄大会参加証』をもって受付とし、大会要録を配付致します。必ず、ご持参のうえ、入場の際には、『沖縄大会参加証』を首にかけ、提示いただきますようご協力をお願いいたします。

(2) 各県小学校長会事務局の申込・参加者名簿の流れ

- ①各県小学校長会事務局は、各県の参加者割当数により、参加者、参加分科会を決定してください。
- ②各県小学校長会事務局は、参加者から提出された個人申込書をもとに、沖縄大会事務局から送付された第76回九小協沖縄大会参加者名簿一覧（別紙：各県小学校長会事務局用の電子データの様式）により、各県の分科会割当数に基づき、参加者名簿を作成してください。
- ③個人申込書は、各県小学校長会事務局で保管してください。（提出は不要です。）
- ④参加者名簿一覧の提出：令和6年5月24日（金）までに、沖縄大会事務局まで、メールで送付ください。

九小協沖縄大会事務局
〒900-0014
沖縄県那覇市松尾1-6-1 沖縄県教職員共済会館3F 沖縄県小・中学校長会事務局
TEL 098-943-9747 FAX 098-943-9748
E-mail oki-koutyokai2@kca.biglobe.ne.jp

⑤各県小学校長会事務局は、大会参加費・昼食代を取りまとめ、下記の金融機関に振込をお願いします。振込手数料は、各県小学校長会でご負担願います。なお、振り込まれた参加費等については返金できませんので、不都合が生じた場合には、代理の方の参加をお願いします。その際、参加者名簿の変更が間に合わない場合にはご容赦願います。

ア 振込額 6,500円×参加者割当数分

イ 振込期限 令和6年5月24日(金)

ウ 受領書・参加費等の振込が確認でき次第、受領書を各県小学校長会事務局に郵送します。

沖縄大会参加費振込先

金融機関：琉球銀行 本店

科 目：普通預金 口座番号 1328251

振込先：九小協沖縄大会会長 宮國義人

キュウショウキョウオキナワタイカイカイチョウ ミヤグニヨシト

19 E-mailの利用について

- (1) 沖縄大会に係る事務連絡で利用させていただきます。参加者は、必ず、個人申込書のメールアドレスの記載欄にご記入願います。その際、日常的に利用しているメールアドレスをお願いします。
- (2) 各県小学校長会事務局においては、個人申込書にメールアドレスが記載されているかをご確認願います。なお、お手数ですが、提出されたメールアドレスに配信できるか各小学校長会事務局でご確認願います。
- (3) 沖縄大会事務局からのE-mailのテスト配信については、各県小学校長会事務局から参加者名簿が提出され、テスト配信準備が整い次第、各県別に参加者・各県小学校長会事務局に、件名「九小協沖縄大会テストメール」として、テストメールを配信します。なお、テストメール配信は、6月上旬を予定しています。

20 宿泊の申込について

- (1) 宿泊の斡旋は、「近畿日本ツーリスト沖縄」が、沖縄大会事務局に代わって行います。宿泊の申込を希望される方は、別紙「第76回九小協沖縄大会ホテル一覧 宿泊プラン」の申込書に必要事項を記載の上、「近畿日本ツーリスト沖縄」に、お申し込みください。
- (2) 申込は、「確実に予約受付を行う為、E-mailのみと致します。ホテル予約申込をご記入の上、次のメールアドレスまで送付願います。 kok-ryouhan@gp.knt.co.jp
※ホテル予約申込書は、「沖縄県小・中学校長会ホームページ」の「第76回九小協沖縄大会」にリンクを張ります。
- (3) 「近畿日本ツーリスト沖縄」に宿泊を申し込まない方は、個人での対応となりますので、ご注意ください。

21 九小協沖縄大会集録について

◇沖縄大会の記録については、「沖縄県小・中学校長会ホームページ」に記載し、大会集録と致します。なお、HPによる大会集録の公開については、E-mailにて、参加者並びに各県小学校長会事務局にご連絡させていただきます。

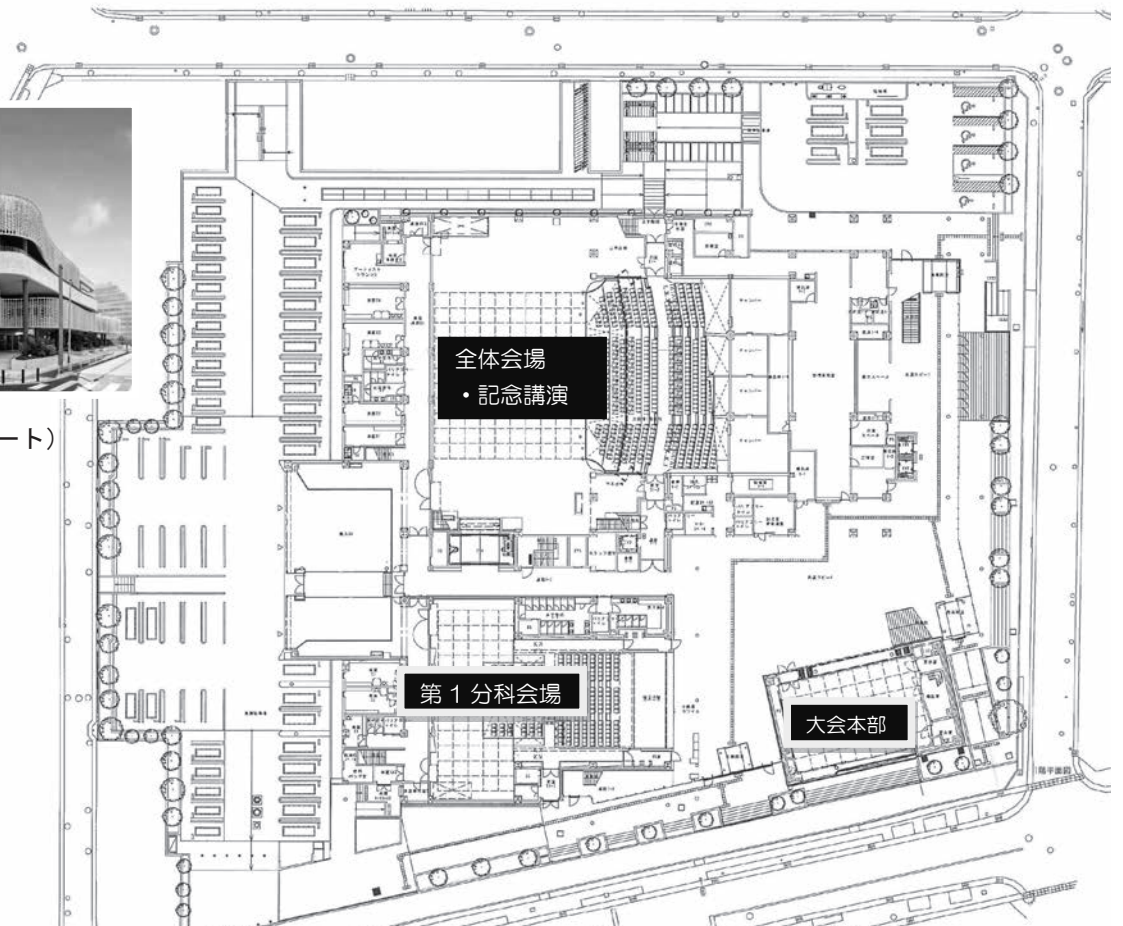
22 その他

◇大会日程等は、本大会要項でご確認ください。また、参加分科会・グループ番号については、事前に郵送された『沖縄大会参加証』に記載してあります。必ずご確認ください。

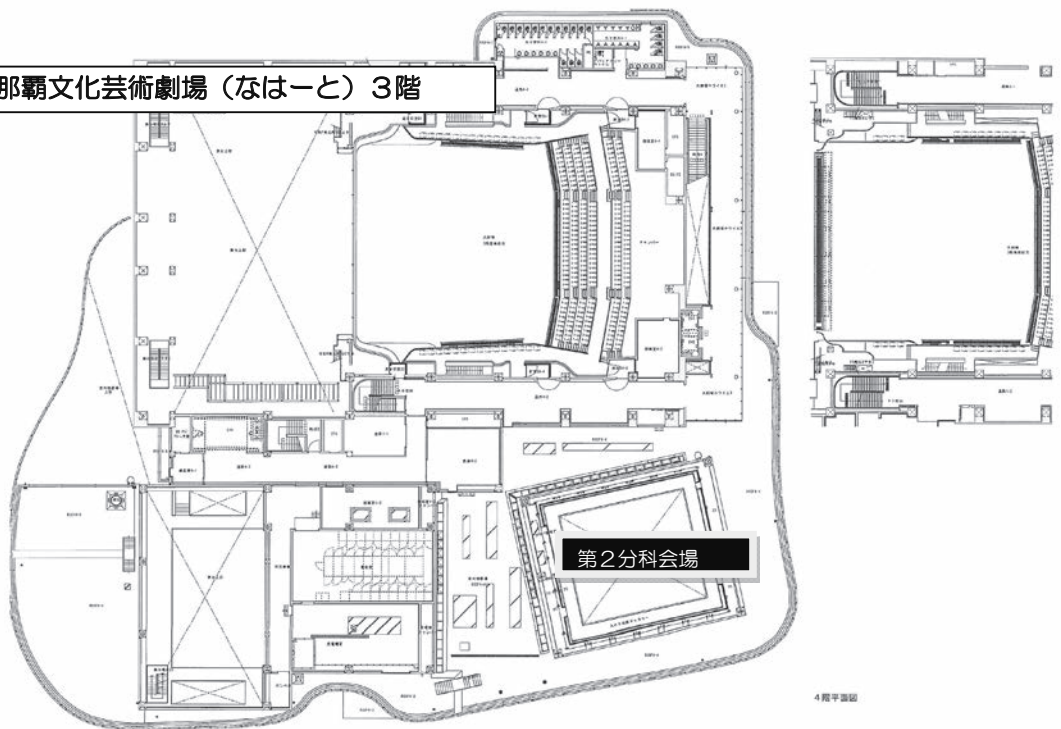
那覇文化芸術劇場（なはーと）1階



- △那覇文化芸術劇場（ナハート）
- ・全体会場（1階）
 - ・第1分科会場（1階）
 - ・第2分科会場（3階）



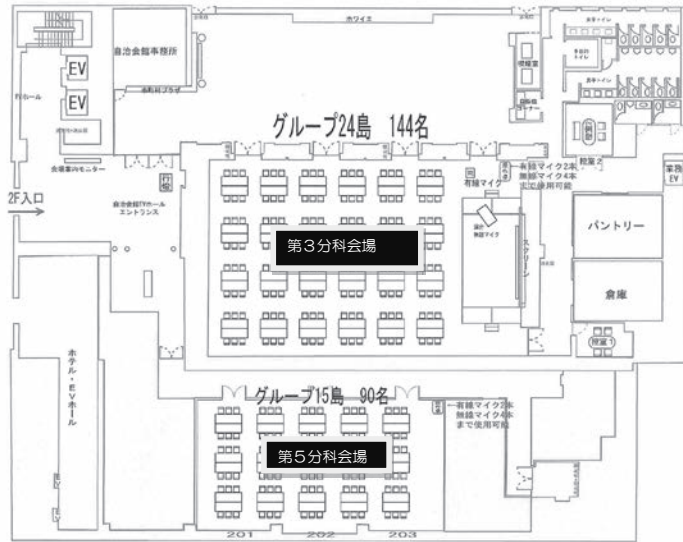
那覇文化芸術劇場（なはーと）3階



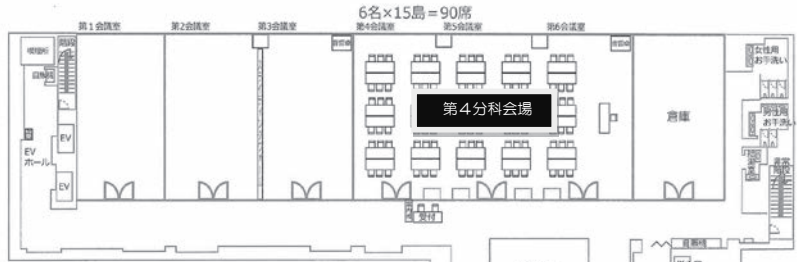
沖縄県市町村自治会館 2階



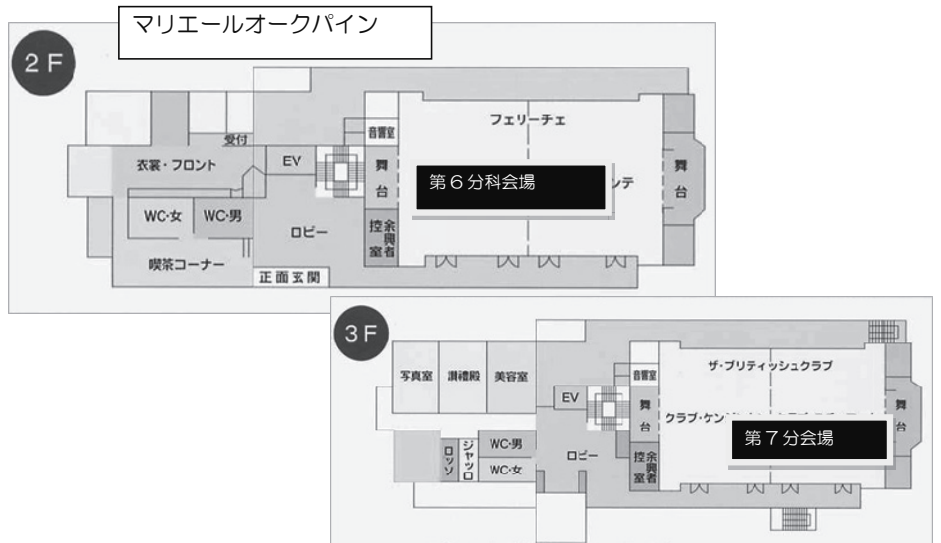
- △沖縄県市町村自治会館
- ・第3分科会場（2階）
 - ・第4分科会場（4階）
 - ・第5分科会場（2階）



沖縄県市町村自治会館 4階

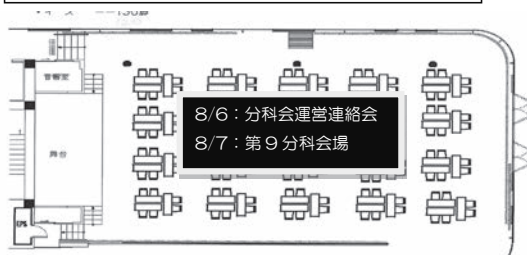


- △マリエールオークパイン
- ・第6分科会場（2階）
 - ・第7分科会場（3階）

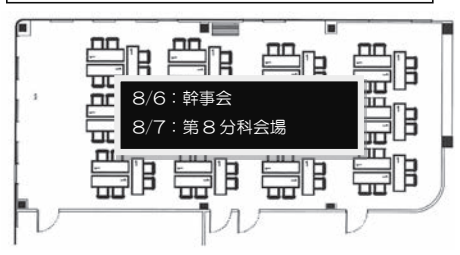


- △沖縄県教職員共済会館
- ・第8分科会場（4階）
 - ・第9分科会場（1階）

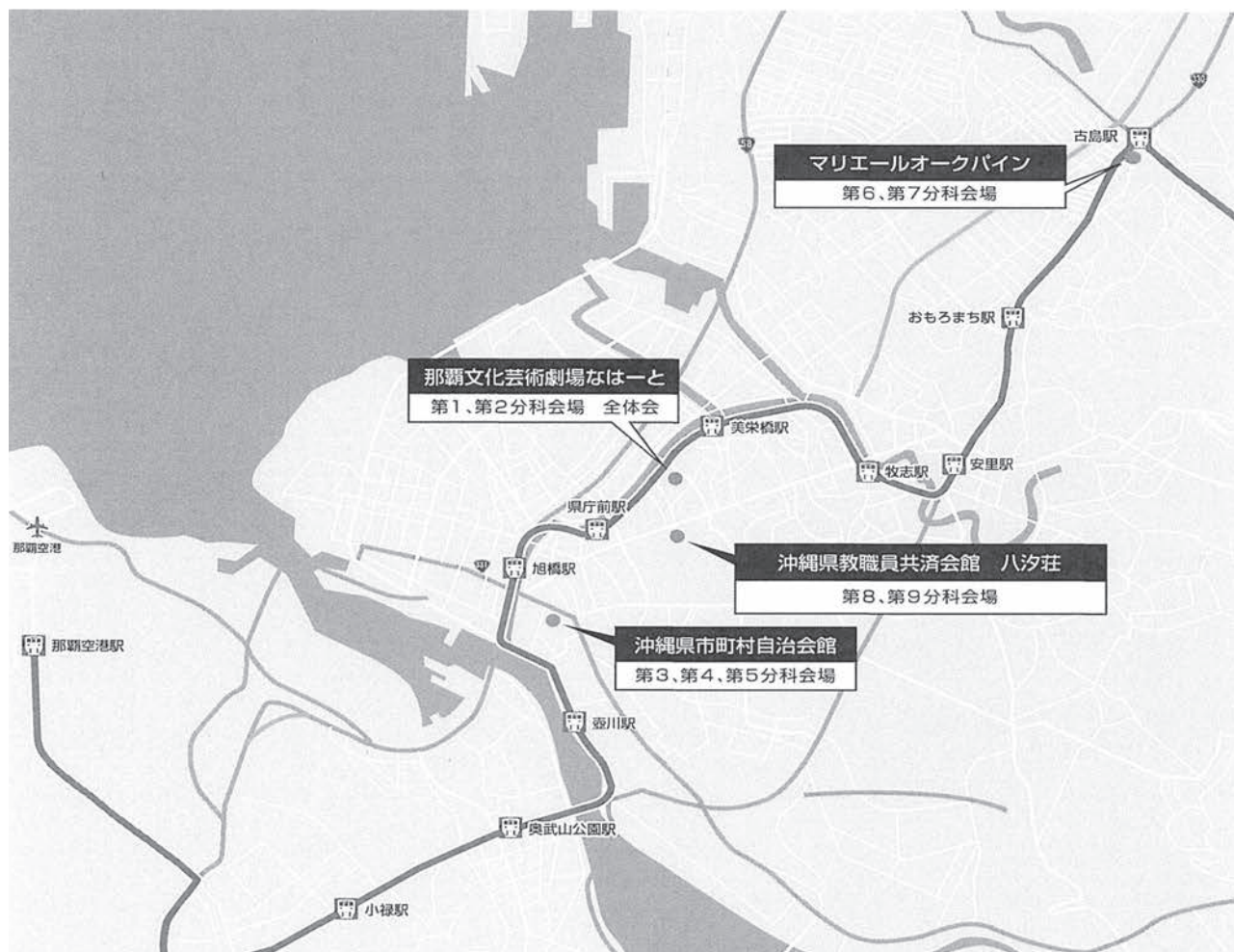
沖縄県教職員共済会館 1階（屋上ホール）



沖縄県教職員共済会館 4階（会議室）



24 全体会・分科会会場 アクセスマップ



会 合 名	会 場	分 科 会	会 場
九小協幹事会	八汐荘4F会議室	第1分科会	那覇文化芸術劇場小劇場
分科会運営連絡会	八汐荘1F屋良ホール	第2分科会	那覇文化芸術劇場大スタジオ
九小協懇談会（予定）	ホテルコレクティブ	第3分科会	自治会館大ホール
開会式・全体会	那覇文化芸術劇場大劇場	第4分科会	自治会館第4～6会議室
全体会・記念講演・閉会式	那覇文化芸術劇場大劇場	第5分科会	自治会館201～203号室
大会本部	那覇文化芸術劇場小スタジオ	第6分科会	マリエールオークバイン(2F)
各県事務局（控）	那覇文化芸術劇場楽屋	第7分科会	マリエールオークバイン（3F）
講師・来賓・各県会長控室		第8分科会	八汐荘4F会議室
歴代会長・感謝状受賞者控室		第9分科会	八汐荘1F（屋良ホール）

締切日：令和6年5月10日（金）
申込先：各県小学校長会事務局

令和6年度 第76回九小協研究大会 沖縄大会 個人申込書

県名	ふりがな			
	市町村名			
ふりがな	参加者名	年齢	性別	
ふりがな				
勤務学校名				
郵便番号	〒			
学校所在地 (書類送付先)				
勤務先電話番号				
メールアドレス	※大会事務連絡の際に利用させていただきます。必ずご記入ください。			
参加分科会 ※必ずご記入ください。(第1～第9分科会)	第			分科会
備考	※九小協役員(幹事)、提言者、司会者、大会宣言文審議委員等、大会役員の方は、役職名をご記入ください。			

《参加者の皆様へのお願い》

○個人申込書ご記入後、各県小学校長会事務局に提出する前に、各自「控え」として必ずコピーをお手元にお取りください。

各県小学校長会事務局
整理番号欄

--